小規模多機能型居宅介護「サービス評価」　総括表

法人名	社会医療法人 凌雲会	代表者	稲次　正敬
事業所名	小規模多機能ホーム 名東の家	管理者	福富　郁代

法人・事業所の特徴	住み慣れた地域・自宅での生活が継続できるよう、「通い」利用を中心に、利用者・家族の様態に応じ「訪問」「宿泊」を組み合わせ、ひとりひとりの暮らしぶりを大切にし、利用者の持っている力が発揮でき、生きがいを持てる生活を目指しています。 利用者の希望を取り入れた活動も実践しています。

書面での出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援ｾﾝﾀｰ	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	0人	1人	2人	5人	1人	0人	13人	0人	22人

項　　目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A．事業所自己評価の確認	事業所の方針を全職員で共有し、相手の立場に立ちご利用者やご家族に寄り添った支援を目指す。	ご利用者、ご家族とのなじみの関係、信頼関係に重点を置くことで、寄り添った支援を目指すことができたが、かかわりの少ないご利用者やご家族への支援が不十分なところがあった。	早期に担当職員を決めることで、相談しやすい環境となっているのではないかと思います。事業所の方針を全職員で情報共有し、支援に取り組んでいると思います。自己評価は日頃の介護を振り返りであり、事項評価での気付きを今後に活かしていただきたい。	事業所の方針も常に確認し、共有しながらご利用者、ご家族とのなじみの関係、信頼関係を築く。
B．事業所のしつらえ・環境	季節を感じられ居心地の良い環境つくりを目指す。	壁飾りや事業所の四季折々の飾りつけをご利用者にお手伝いいただき、皆で作り上げた達成感が得られたのではないかと思う。	季節折々の飾りつけなどを、名東の家通信や運営推進会議資料で報告を受け、ご利用者も四季を感じて過ごしているのではないかと思う、季節ごとのしつらえをみんなで取り組む姿勢がいいです。	ご利用者の力をお借りし、四季折々の飾りを作成し、居心地のより環境づくりを目指す。
C．事業所と地域のかかわり	定期的な事業所周辺の清掃活動や地域住民へ積極的に挨拶を行い地域との関係構築を目指す。	コロナ禍で地域住民と積極的にかかわることはできなかったが、日常の挨拶や定期的な清掃活動を継続することはできた。	コロナ禍でもあり、難しいテーマですが、地域住民の方々と良好な関係を築き、施設が地域の中で気楽に相談できたり、集える場所になっていただきたい。無理のない範囲でお願いします。	継続して定期的な事業所周辺の清掃活動や地域住民へ積極的に挨拶を行い地域との関係構築を目指す。
D．地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	感染症の状況を把握や感染予防対策を実施し、可能な限りで、ドライブや散歩など外に出かける機会をつくる。	感染症予防で制限はあるが、近隣の散歩やドライブ、コスモスや菊人形など季節に応じた外出や買い物などに出かけることができた。	コロナ禍ではあるが、外の空気に触れることは重要な体験で気分転換にもなると思います。 できる範囲での外出活動でご利用者の QOL（生活の質）向上に繋がっていると思います。	感染症の状況を把握や感染予防対策を実施し、ご利用者の要望を取り入れた外出活動を目指す。
E．運営推進会議を活かした取組み	事業所の取り組みをしっかりお伝えし、ご意見を運営等に反映するように努める	コロナ禍で書面会議となっているが頂いた貴重なご意見を運営に反映するよう努めた。	早く対面での会議が出来るように期待しています。引き続き運営状況や活動状況の報告を行い、ご利用者ご家族の要望等の聴取に努めていただければと思います。ご利用者のためになる運営に期待します。	事業所の運営状況や活動などの取り組みを報告し、ご意見や要望を運営等に反映するように努める。
F．事業所の防災・災害対策	可能な限りご利用者参加の念2回の消防訓練に加え、自沈、洪水、土砂災害の初動動作マニュアルの作成と訓練の実施を行う。	火災訓練にご利用者に参加いただき避難訓練を行った。また、職員のみであったが、停電時初動マニュアルを作成し訓練を実践することができた。	様々な災害や状況を想定した訓練を行い、災害発生時に知識や経験を生かしてもらいたい。防災面においても地域とのつながりを強め、いざという時協力しあえる体制づくり努めてください。	継続して年2回の火災訓練にご利用者に参加いただく。また、地域と合同の災害訓練の実施を行う。